

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第3区分
 【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2001-105293(P2001-105293A)

【公開日】平成13年4月17日(2001.4.17)

【出願番号】特願平11-286865

【国際特許分類第7版】

B 2 4 B 9/14

【F I】

B 2 4 B 9/14

D

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月9日(2004.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡枠を所期する状態に保持するための保持手段と、玉型測定子を玉型の動径方向に移動可能に保持する保持ベースと、前記玉型測定子の移動量を検出する第1検出手段と、前記保持手段に保持される眼鏡フレームの左右の玉型を測定するために前記保持ベースを左右の測定位置に相対的に移動する移動手段と、該移動手段による前記保持ベースの移動情報を検出する第2検出手段と、前記移動手段により前記保持ベースを移動したときに前記第2検出手段により得られる検出情報に基づいて前記第1検出手段の較正データを得る較正手段と、を備えることを特徴とする玉型形状測定装置。

【請求項2】

請求項1の較正手段は、前記玉型測定子を固定的に配置された制限部材に押し当てつつ、前記保持ベースを押し当て方向とは逆方向に移動することにより、前記玉型測定子の移動情報を相対的に前記第2検出手段により検出し、該移動情報をに基づいて前記第1検出手段の較正データを得ることを特徴とする玉型形状測定装置。

【請求項3】

請求項1の玉型形状測定装置において、前記第1検出手段は前記玉型測定子の直線移動を回転運動に変換する回転変換手段と該回転運動の回転情報を検知する回転検知手段とを持ち、前記較正手段は前記回転検知手段により検知された回転情報を前記第2検出手段により検出された移動情報を対応付けて作成した較正用テーブルを記憶することを特徴とする玉型形状測定装置。

【請求項4】

玉型測定子を玉型の動径方向に移動可能に保持する保持ベースを備える玉型形状測定装置のキャリブレーション方法において、前記玉型測定子を固定的に配置された制限部材に押し当てつつ、前記保持ベースを押し当て方向とは逆方向に移動する移動ステップと、該移動ステップによる前記玉型測定子の保持ベースに対する移動情報を検出する第1検出ステップと、前記移動ステップにより移動する保持ベースの移動情報を検出する第2検出ステップと、前記第1検出ステップ及び第2検出ステップにより検出された両移動情報をに基づいて作成された較正データを記憶する記憶ステップと、を備えることを特徴とする玉型形状測定装置のキャリブレーション方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 玉型形状測定装置は、眼鏡枠を所期する状態に保持するための保持手段と、玉型測定子を玉型の動径方向に移動可能に保持する保持ベースと、前記玉型測定子の移動量を検出する第1検出手段と、前記保持手段に保持される眼鏡フレームの左右の玉型を測定するために前記保持ベースを左右の測定位置に相対的に移動する移動手段と、該移動手段による前記保持ベースの移動情報を検出する第2検出手段と、前記移動手段により前記保持ベースを移動したときに前記第2検出手段により得られる検出情報に基づいて前記第1検出手段の較正データを得る較正手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1)の較正手段は、前記玉型測定子を固定的に配置された制限部材に押し当てつつ、前記保持ベースを押し当て方向とは逆方向に移動することにより、前記玉型測定子の移動情報を相対的に前記第2検出手段により検出し、該移動情報を基づいて前記第1検出手段の較正データを得ることを特徴とする。

(3) (1)の玉型形状測定装置において、前記第1検出手段は前記玉型測定子の直線移動を回転運動に変換する回転変換手段と該回転運動の回転情報を検知する回転検知手段とを持ち、前記較正手段は前記回転検知手段により検知された回転情報を前記第2検出手段により検出された移動情報を対応付けて作成した較正用テーブルを記憶することを特徴とする。

(4) 玉型形状測定装置のキャリブレーション方法は、玉型測定子を玉型の動径方向に移動可能に保持する保持ベースを備える玉型形状測定装置において、前記玉型測定子を固定的に配置された制限部材に押し当てつつ、前記保持ベースを押し当て方向とは逆方向に移動する移動ステップと、該移動ステップによる前記玉型測定子の保持ベースに対する移動情報を検出する第1検出ステップと、前記移動ステップにより移動する保持ベースの移動情報を検出する第2検出ステップと、前記第1検出ステップ及び第2検出ステップにより検出された両移動情報に基づいて作成された較正データを記憶する記憶ステップと、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】